

2025年度 権利擁護システム研究会



権利擁護システム研究会とは、精神科医療の制度的・構造的課題点や精神科病院の治療文化を「かえる」ためのアプローチを検討する場です。

年度毎にテーマを設定して講師・ゲストスピーカーからの話題提供をもとに参加者同士が意見交換を行い、問題の所在や背景事情を探究し、改革（制度も含む）に向けて検討し、その結果を意見書やニュース等として発信しています（2017年度から開催）

2025年度のテーマ 「地域」

2026年2月7日（土）14~16時「居住支援」

芝田 淳さん（NPO法人やどかりプラス理事長・司法書士）

鹿児島県にて、居住支援法人を運営されています。高齢者・障害者や・身寄りがない人が”主人公”となって自ら支えあって居住支援を実践する「やどかりライフ」の取り組みを紹介いただきます。

2026年3月1日（日）14~16時「長期入院からの退院支援」

角野 太一さん（障害者相談支援センター輪っふる）

兵庫県西宮市における退院支援の取組実践を踏まえ、課題や応用可能性をともに考えられたらと思います。

2026年3月20日（金・祝）14~16時

「『重度』の人も地域で暮らせる支援とは」

金井 浩一さん（相談支援事業所しぼふぁーれ）

京都市において、「地域」を巻きこみつつ、どんなに「重度」と言われる人も地域で暮らす支援を行っておられます。

[お申し込みはこちらから](#)



事前申込制

【問い合わせ先】認定NPO法人大阪精神医療人権センター
〒530-0047 大阪市北区西天満5-9-5谷山ビル9階
電話06-6313-2003

mail advocacy@pearl.ocn.ne.jp



参加費1回1,000円
3回セット2,500円
【オンライン開催】